



広げよう コミュニティの輪

No.51
2018.10

平成30年度定期総会 開催報告

平成30年6月6日(水)



彩の国コミュニティ協議会会長
埼玉県知事 上田 清司

会長あいさつ

会員の皆様には、日頃から県政推進のため、また地域社会においても、様々な形で御支援、御協力をいただいておりますことに、深く感謝を申し上げます。また、本日、長年にわたる様々な御貢献に対して表彰を受けられる皆様には、心からお祝い申し上げます。

我が国は都市化の進展に伴い、地域社会で人を育てる、まちが人を育てるという機能がどんどん弱くなってきました。また、人間関係が

希薄な地域社会では、犯罪などの抑止力も低下します。本県でも平成10年から犯罪件数が急増する中で、地域での防犯意識も高まってきました。

そうした中、県では、地域で自主的に防犯パトロールを行う団体を支援する取組を始めました。防犯パトロールの団体数は、平成16年には515団体だったのが、現在では6,000団体を超えています。

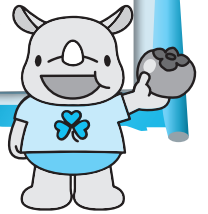
こうした地域の皆様の協力もあり、本県の刑法犯認知件数は、平成16年に約18万1,000件だったのが、現在では約6万3,000件まで減少しております。

正にこれが、地域社会で安全を守ろうという動きです。困難な課題はたくさんありますが、このように具体的な取組を展開し、解決していかなければならないと思っています。

今日お集まりの皆様は、日頃から安心・安全に暮らせる地域社会をつくるため、核となつていただいている方々です。皆様には、今後とも御尽力を賜りますようお願い申し上げます。

目次 contents

- P1 ■平成30年度定期総会開催報告
- P2 ■地域活動とお金のはなし
・ファンドレイジングセミナー
・クラウドファンディングでの資金調達
■埼玉でのスポーツ大会を盛り上げよう!
- P3 ■市町村コミュニティ協議会の取組
- P4 ■会員紹介



彩の国コミュニティ協議会マスコット
サイコミ君

永年表彰

彩の国コミュニティ協議会及び市町村コミュニティ協議会の役員として20年以上にわたり尽力された方に対し、永年表彰を行いました。当日は7名が出席し、協議会会長(上田埼玉県知事)から表彰状と記念品が授与されました。

- 横田 敬二 氏(彩の国コミュニティ協議会)
- 立澤 光子 氏(和光市コミュニティ協議会)
- 小林 ミセ 氏(和光市コミュニティ協議会)
- 山田 智好 氏(和光市コミュニティ協議会)
- 安田 和子 氏(和光市コミュニティ協議会)
- 今野 悦也 氏(ふじみ野市コミュニティづくり推進連絡会)
- 松本 喜美能 氏(白岡市コミュニティ協議会)
- 戸室 美代子 氏(宮代町コミュニティ協議会)
- 階戸 隆正 氏(宮代町コミュニティ協議会)



授賞式の様子(後列左から)階戸氏、松本氏、今野氏、安田氏
(前列左から)横田氏、立澤氏、山田氏

賞状



記念品の
フォトスタンド

共助事例発表

「尾山台団地でのボランティア活動 ～自治会・社協支部・NPOが協力して～」

尾山台団地自治会 会長 尾上 道雄 氏



尾上 道雄 氏

上尾市にある尾山台団地は、1967年(昭和42年)入居開始の1,760戸のUR団地です。少子高齢化が進み、最盛期1,000人を超えた小学生は現在では約70人、高齢化率46%超で、単身高齢者も450人を超えます。

自治会の活動としては、住まいを守る活動、コミュニティ活動、防災・防犯活動、高齢者福祉活動、子育て支援活動、青少年健全育成活動等、多世代を対象に様々な事業を行っていますが、中でも福祉活動は多彩です。

尾山台団地の福祉活動で特徴的なことは、自治会と社協支部でNPO法人を設立し、団地での福祉活動に団地外地域の方々も参加できるようにしたこと。

NPO法人は、在宅支援サービスの他、ふれあい食堂、食事会、見守りサポート支援事業、オレンジカフェ及び健康体操等を行っています。社協支部もふれあい喫茶、食事会、障害者リハビリ体操、落語会や福祉相談等を行っています。

また、自治会では、国内外の大きな自然災害への義援金活動や3.11東日本大震災の被災地との交流等も行っています。

これらの諸活動に対し、自治会は2013年(平成25年)に「上尾市栄誉賞」を受賞しました。

このように多くの事業を行うこととなった理由は、「切り口」をたくさん作ることで、一人でも多くの方が何かのイベントに参加できるように考えた結果です。

重要なことは、若い方や新しい方の意見を積極的に拾い上げること、「無理はしない」ことです。そうすることで、自治会が存在意義を持ち続けていくことができるのではないかと思います。また、私たちは、ボランティア活動の継続性を維持するために、「有償ボランティア制度」をぜひ確立したいと考えています。

特集 地域活動とお金のはなし



現在、NPOなど様々な主体が市民活動に取り組むようになりました。そのような地域活動にも資金は必要になります。今回は、地域活動のための資金調達について特集します。

ファンドレイジングセミナー

埼玉県では、さいたま市との共催により、NPOなど日頃、市民活動に取り組まれている方の活動資金調達力の向上や継続的な支援者を増やしていくための様々な手法を学ぶ「ファンドレイジングセミナー」を開催しています。

■オープンセミナー「みんなで考える市民活動とお金のはなし」

7月26日(木)に浦和のコムナーレで、ファンドレイジングセミナーのオープンセミナーが開催されました。NPO法人「クッキープロジェクト」、NPO法人「グリーンパパプロジェクト」、(一社)熊谷市観光協会、NPO法人「無料塾ひこざ」から、それぞれテーマ別に実践例の発表がありました。どのように事業を立ち上げたのか、どのように資金調達したのか等、具体的なエピソードを紹介。助成金やクラウドファンディング等を活用しつつ、どの発表者も人と人との繋がりがコミュニケーションを大切に、ファンや仲間を増やしていることで共通していました。

その後は、テーブルを囲んでの参加者同士の交流タイム。それぞれ、事例発表の感想や登壇者への質問について意見交換していました。



ファンドレイジング・ラボ代表 徳永氏



多くの方が参加していました



発表者によるパネルディスカッション

後半のパネルディスカッションでは、ファンドレイジング・ラボ代表の徳永洋子氏がファシリテーターを務め、会場の参加者から寄せられた質問をもとに、それぞれの事例発表者から、取組の工夫やこれから取り組もうとする方へのアドバイスがありました。

セミナー終了後は、自然に参加者同士で名刺交換をしている場面も見られ、有意義な情報収集・交流の場となったセミナーでした。

■連続セミナー「地域の未来を紡ぐお金と仲間を集めよう」

オープンセミナーに続き、より実践的な講義・ワークショップ形式の連続セミナーを、テーマ別で開講します。

全3回のセミナーで、第1回は9月に行われました。第2回は10月、第3回は来年1月に行われる予定で、空きがあれば申込みが可能です。詳細は、埼玉県共助社会づくり課のホームページ「共助スタイル」を御覧ください。

クラウドファンディングでの資金調達

自治体や地域活動でも活用されつつあるクラウドファンディング。埼玉県でもクラウドファンディングの活用を推進しています。

FAAVO 埼玉の仕組み



■クラウドファンディングとは？

やりたいこと(プロジェクト)を実現するための資金をインターネットを通じて不特定多数の支援者から集める資金調達の手段です。

クラウドファンディングに挑戦してみたい方は、共助社会づくり課まで御相談ください!

■埼玉県の取組

埼玉県では、「FAAVO埼玉」を運営する(株)CAMPFIREと協定を結び、地域課題の解決に取り組むプロジェクトを応援しています。



埼玉でのスポーツ大会を盛り上げよう!

東京2020オリンピック・パラリンピックラグビーワールドカップ2019™大会

埼玉で開催!
東京2020
オリンピック・パラリンピック

バスケットボール
さいたまスーパーアリーナ
【さいたま市】

サッカー
埼玉スタジアム2002
【さいたま市】

ゴルフ
霞ヶ関カンツリー倶楽部
【川崎市・狹山市】

射撃・パラリンピック射撃
陸上自衛隊朝霞訓練場
【朝霞市・和光市・新座市】

【開催期間】 オリンピック 2020年7月24日(金)~8月9日(日)
パラリンピック 2020年8月25日(火)~9月6日(日)

ラグビーワールドカップ2019日本大会の一般先行抽選販売が開始されています。先行抽選販売の最後のチャンスをお見逃しなく。

申込期間 : 2018年9月19日(水)~11月12日(月)
抽選結果発表: 2018年11月26日(月)
※チケットIDの登録が必要です。
詳しくは、公式チケットサイト(tickets.rugbyworldcup.com.)を御覧ください。
問合せ/埼玉県県民生活部ラグビーワールドカップ2019大会課 Tel.048-830-6870

ラグビーワールドカップ2019™ 日本大会



熊谷へラグビーを見に行こう!
埼玉・熊谷ラグビー場 開催日程
2019 9/24(火) ロシア v サモア
9/29(日) ジョージア v ウルグアイ
10/9(水) アルゼンチン v アメリカ



市町村コミュニティ協議会の取組

彩の国コミュニティ協議会では、市町村協議会が行う共助社会づくり事業に対して助成をしています。今年度の助成事業について、一部御紹介します。

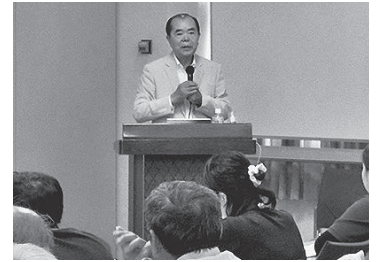
「集会所開放による住民交流事業」(三芳町区長会)

住民間や世代間の交流を深め、お互い顔が分かる安心して暮らせる地域を実現するため、集会所を開放し交流事業を実施しました。この日開催された北永井第3区では、区の役員や民生委員らの地域住民に加え、近隣の保育施設や介護施設などからも人が訪れ、遊びや食事を通じて会話に花を咲かせていました。参加者からは、「普段話をしない人とも話せ仲良くなることができる。」といった感想が聞かれ、交流を深められたようでした。三芳町区長会では、今後も世代を問わない居場所づくりに努め、共助を促進していきたいと思えます。



「防災アドバイザーによる地区防災マップづくりの講演」(越谷市コミュニティ推進協議会)

越谷市内13地区のコミュニティ推進協議会では、地域版防災マップづくりに取り組むこととしました。このマップの制作を通じて自助・共助の意識を高め、地域住民に浸透させることが狙いです。マップづくりのヒントを得ようと、防災の第一人者、防災システム研究所の所長(防災アドバイザー)の山村武彦氏を招き、各地区からの参加者80人がレクチャーを受けました。講師からは「地域、場所によってリスクは異なる。指定避難所や指定緊急避難場所まで障害はないのか。きめ細かな地域の情報を盛り込んだマップを作り上げてほしい」とこのアドバイスを生かして、住民参加による防災マップの制作に取り組みます。



「全市一斉清掃」(本庄市コミュニティ協議会)

市内85自治会、幼稚園、保育園、学校、事業所、各種団体が、5月の2日間、広範囲に渡り清掃活動を行いました。お陰様で天候にも恵まれ、道路のごみや雑草が片づけられ、大きな成果を上げることができました。

環境美化とコミュニティ活動の推進を図るため、コミュニティ協議会が1982年より始めた活動で、5月30日ごみゼロの言葉と共に市民行事として完全に定着しました。分別ごみも習慣化されてきていますが、更なるモラルの向上、ごみ減量と綺麗な町並みの維持を目指していきたいと思えます。



「花いっぱい運動」(小鹿野町コミュニティ協議会)

小鹿野町コミュニティ協議会では、環境整備活動を通じた防犯・防災のまちづくり活動として、「花いっぱい運動」を推進しており、町内各地で花の植栽活動を実施しています。市街地の中心に位置する上一丁目地区では、平成16年から植栽活動を続けており、今年も地区の住民15人が、道路脇の花壇にペゴニアの植栽活動を実施しました。春から秋にかけて花を咲かせ、祭りの観光客や周辺の住民の目を楽しませています。

この活動を続けることで、地域住民自らが環境整備の意識を持ち、地域のつながりを強める取り組みとして大きな成果が出ています。



特色ある市町村コミュニティ協議会の取組

特色ある市町村コミュニティ協議会の活動を紹介します。

彩夏祭(さいかさい)(朝霞市コミュニティ協議会)

朝霞市コミュニティ協議会が主催で、8月に開催している朝霞市の市民祭りです。お祭りのメインは、鳴子踊りの祭典「関八州よさこいフェスタ」と市街地で打ち上がる花火。現在は、約70万人の来場者が訪れる大きなお祭りですが、その裏側について、朝霞市コミュニティ協議会の渡辺俊夫会長にお話を伺いました。

初めは小さな「市民まつり」だった

「彩夏祭」の始まりは1984年(昭和59年)。当初は、盆踊りと打ち上げ花火をメインとした小さなお祭りでした。その後、今から24年前の1994年(平成6年)に、より幅広い世代の人が参加できるイベントとして、鳴子踊りを取り入れようと実行委員会が発案しました。



市内のいたるところで踊りが披露される

発案当時のリーダーシップから大きなお祭りへ

鳴子踊りを取り入れようと発案した当時、中心となる方の強いリーダーシップがあり、実行委員のメンバーはよさこいの本場である北海道や四国等に視察に行きました。

そこから、踊り子の参加チームは増え、平成30年度は98チームが参加するほどにまでなりました。地域の参加チームが競い合いながら年々チーム数が増え、それとともに見に来るお客さんも増えていきました。

今も「市民」のお祭り

運営費を支えている協賛金は、多くの市民の方からいただいています。パンフレットの「協賛者芳名」一覧には、個人の方のお名前が並んでいます。また、運営も主に市民が支えています。交通整理や給水所等の運営も、朝霞市コミュニティ協議会の加盟団体や地域の高校・大学等のボランティアが運営しています。そうした市民の方がいないと成り立ちません。

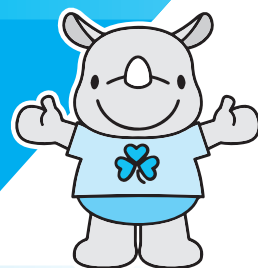
「彩夏祭」は、踊り子や来場者だけでなく、運営スタッフも生き生きと輝いている、正に朝霞市民の力が集結した「市民まつり」でした。



給水所のボランティアスタッフ

会員紹介

彩の国コミュニティ協議会の 会員様の活動を紹介します



サッポロビール株式会社埼玉統括支社

弊社は「お客様の生活を、より楽しく豊かに」という経営理念のもと、ビール・ワイン・洋酒・和酒といった様々な総合酒類を通じ、お客様に「サッポロビールを選んでよかった」と言われる企業でありたいと日々邁進しています。

また、弊社では全国の主な営業拠点で、環境省が定めたマネジメントシステム「エコアクション21(EA21)」の認証・登録を受けており、埼玉統括支社でも活動の一環として県内2か所(大宮/鐘塚公園・川口/キュボラ広場)にて定期的に自主清掃を行なっています。事務所がある大宮と、以前ビール工場があった川口への恩返しの気持ちも込め、微力ながら地域の美化に貢献できればと思っております。

明治初期の弊社創業時に埼玉の偉人・渋沢栄一が経営に参画していたり、かつて川口にビール工場があったり、現在も県産ビール大麦を原料として使用していたりと、非常に縁が深い地元・埼玉県との絆を、今後もより一層深めてまいります。



キュボラ広場(川口)での清掃活動



鐘塚公園(大宮)での清掃活動

リコージャパン株式会社埼玉支社

リコージャパンでは、様々な実践事例をお客様に御体感頂く空間として、LiveOffice「ViCreA(ヴィクレア)」の活動をしています。

私達のオフィスにお客様をお招きし、日々の実践の中で成功・失敗してきた事をノウハウとして御紹介しています。

本日は1つ実践事例を御紹介します。

それは、コーヒー1杯で気軽に地域貢献に参加でき、社員満足向上にも繋がられている『社会貢献カフェ』の活動です。

美味しいコーヒーが飲みたいという社員の声によって社内にかフェコーナーを設置。さらに、社員のアイデアで、おつりはNPO活動へ充当していこうとなり、『社会貢献カフェ』が誕生しました。

毎年12月に、埼玉県 共助社会づくり課へ寄付しており、NPO活動の費用として活用頂いております。

社員の満足度も高く、おつりを上手く活用した貢献活動だと好評です。

詳しくは、「ViCreAさいたま」で検索を♪ 皆様の御来場をお待ちしております。



「社会貢献カフェ」プロジェクトメンバー

ライオンズクラブ国際協会330-C地区

私たちは46,000のクラブと145万人以上の会員を擁する世界最大の奉仕クラブ組織です。

眼病予防、青少年健全育成、災害援助、人道奉仕などをベースに奉仕活動に取り組んでおり、近年では西日本豪雨災害への支援協力、募金活動など積極的に行っています。

また、青少年健全育成の一環として小中学校の子供たちを対象に「薬物乱用防止教室」も数多く開催しています。

地域イベントや祭りにも参加しイベントブースの協力や、ゴミ箱の設置など行政の手の届かないところへの支援にも尽力しています。



左上:子どもを対象にした
絵画合作会
左下:薬物乱用防止教室
右:献血活動



ホームページにバナーの掲載を始めました!

このたび、コミュニティ活動の広報・啓発の一環として、彩の国コミュニティ協議会のホームページ(埼玉県のホームページの中)に企業会員様のバナーを掲載することとしました。

バナーの掲載を希望する企業会員様は、当協議会事務局まで御連絡ください。